

高等部

情報活用能力を育てるための カリキュラム・マネジメント

高等部では、コロナ禍における休校措置中にオンラインでの朝の会やミニ授業を実施しました。その中で、タップやスワイプなどの指示用語の理解や、生徒自身の機器操作等の難しさから「ICTの授業」を特設し、生徒のICT機器(iPad)の**基本的操作スキル等の向上**を図ってきました。そのことにより、各授業等においてICT機器を活用しながら学習活動に取り組む生徒の姿が増えてきました。

本研究は、ICT機器の基本的操作スキルを含む**情報活用能力**について、その捉え方や考え方の整理と、各教科等の授業におけるICT機器の活用により、教科本来の学びを深めつつ**情報活用能力の育成**を目指した**授業実践**、また、それらの実践を通して見えてきた**次年度教育課程編成の方向性**についての研究実践になります。

◆各実践について◆

授業研究

「情報活用能力の育成を目指したICTの授業(特設)」

休校措置中の遠隔授業等における課題から学校再開後、特別活動の時間に「ICTの授業」を**特設**しました。指導内容や方法等試行錯誤しながらの授業実践ではありましたが、iPadの基本的操作方法やアプリ使用方法等についての学習を通して、自分で検索して調べたり、キーボード入力や音声入力でメモを取ったりなど**各教科等の学習活動の中で生かす姿**が見られるようになってきました。



事例研究

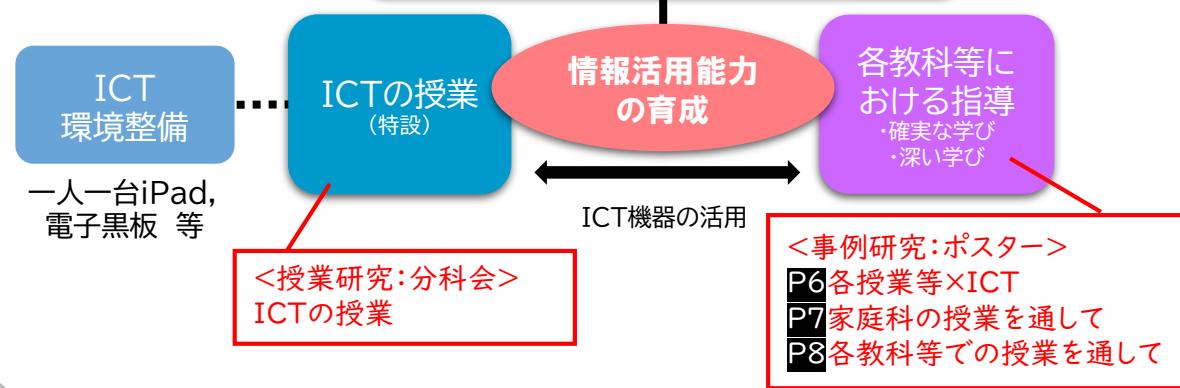
情報活用能力の育成を目指した教科等横断的な学習の実践
(各教科等×NIE×ICT) P6



教科等横断的な学習の中で、情報活用能力の育成を目指した実践です。令和2年7月豪雨を共通の題材とし、**国語科・音楽科・総合的な探究の時間**に取り組みました。新聞記事の読み取りやZoomを活用した聞き取りなどにより、読解力や伝え合う力、イメージを音で表現したり、曲を創作したりする力、課題設定や情報の収集・整理など、**得た情報を活用し、自分たちに何が出来るかを考え、行動に移す**ことができるようになった事例です。

研究イメージ図

特別支援教育における教育の情報化



1. 育成したい情報活用能力と ICTの関連について整理

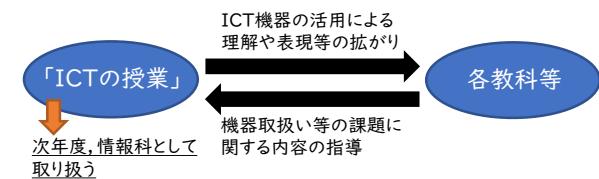
	情報収集	情報整理・比較	自己決定	情報発信・伝達	情報保存・共有
育てたい能力など	<ul style="list-style-type: none"> 情報への意識、興味・関心 情報を見、聞く、読む 情報源を知る 収集方法 文字・画像 評価 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい情報の判断 数・表・グラフ・統計 情報源、優先順位 観点整理 整理方法 情報と情報の関係、分類 取捨選択 	<ul style="list-style-type: none"> 自己選択 自己決定 プログラミング 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンタ (作成、発信) 広めた・気持 関心・目的意識 発信手段の選択 	<ul style="list-style-type: none"> 保存スキル (技能、方法) 情報管理 (メール、セキュリティ) ファイル管理
ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> web検索 キーボード入力 マウス入力 写真、動画 	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフト ロイノット (シンキングツール) 写真、動画 	<ul style="list-style-type: none"> メール、LINE、SNS ロイノット プレゼンソフト 写真、動画 	<ul style="list-style-type: none"> ロイロ ファイルアプリ メールアプリ 写真、動画 	
活用利点	<ul style="list-style-type: none"> 予測変換 補綴機能 画面上、多言語 	<ul style="list-style-type: none"> やり直し機能 整理比較方法の選択幅拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 画面が整えやすい 発信方法の拡大 多様な画面 (絵文字、文字色) 	<ul style="list-style-type: none"> 保存のしやすさ、速さ、手軽さ 遠隔的操作 	

本研究における成果や課題

- <生徒の変容>**
- ◎キーボード入力や音声入力、予測変換機能等により**スムーズな入力、正確な漢字使用や文章表現**ができた。
 - ◎**自分一人で操作**ができることが増えた。(準備、検索、アプリ操作など)
 - ◎検索や友達の発表内容等の共有による**情報への意識の高まりや興味**の拡がり。
 - ◎簡単に文字修正などが可能であるため、**試行錯誤する姿が増えた**。
 - △機器管理(丁寧な取り扱い、充電など)
 - <授業づくり>**
 - ◎**情報提示方法の拡がり**(転写、拡大、比較提示などが簡単にできる)
 - ◎**学習活動における補助**(生徒自身による検索、文字の大きさの容易な変更、シンキングツールなどの活用)
 - ◎ワークシートなど**教材の保存や共有**
 - △教材作成の時間と手間
 - △保存データの整理・管理 など

2. カリキュラム・マネジメント

①特設「ICTの授業」と各教科等との関連付け



②情報活用能力を育てる授業づくりの視点



※情報活用能力の観点に基づいてキーワードを設定
※学習活動における情報活用能力について整理

③教科等横断的な学習実践

題材「令和2年7月豪雨」		
国語科	音楽科	総合的な探究の時間
あつめる	あつめる	あつめる
まとめる	まとめる	まとめる
あらわす	あらわす	あらわす
	のこす	のこす

※教科間連携を図り、情報活用能力を発揮できる学習活動場を設定

将来の生活の変化に対応する、主体的に情報を選択し、活用する力をつけたIくん(家庭科×ICT) P7

将来の生活の変化に対応する力を育むために、「**問題解決的な学習過程**」において、自ら課題を設定し、主体的に情報を選択し、活用していけるように授業づくりを行いました。本実践では、**家庭科**の「消費行動と意思決定」に焦点をあてます。学校でNHK for schoolやWEB検索を活用しながら、消費までの**意思決定の過程**について学び、**自ら情報を活用し、生活(調理)に生かす姿**が見られるようになった事例です。



情報を整理し、行動や表現に結び付けることができたYくん P8



認知処理や客観的な状況把握の力を高め、**日常生活での行動や表現に生かす力を育む**ために各教科等と関連させ、得た情報を整理して自分の考えをまとめたり、状況を判断して適切な言葉を選択して話したりすることができる学習づくりを行いました。本実践では、**国語科/職業科(作業学習)/総合的な探究の時間**でiPadの文字予測変換機能や接客アプリ等を活用することで、視覚的に**情報の整理**や取捨選択による**表現力**の高まり、場面に応じた話し方などの**発信する力**が身に付き、**学習や生活で生かす姿**が見られるようになった事例です。